2025 年 11 月 10 日

たてくろジオパークだより

第 84 号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局
〒930-0856 富山市牛島新町５-５ タワー１１１ビル１階 TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/ https://facebook.com/tatekuro

★ 上市町小学校６年生ふるさと学習

10 月 22〜24 日の 3 日間､上市町の小学校 6 年生が､地元の自然や文化を学ぶ｢ふるさと学習｣で､地層や化石について学びました。（ 立山黒部ジオパーク協会の専門員とジオガイドが指導・協力しました。）

最初に相ノ木小学校内で、大地の動きや生物の化石ができるメカニズムをスライドで学習する中で、ペットボトルを使った土砂の堆積の実験や、化石の観察をした後、海底地すべりによってできた、ぐにゃっと曲がった珍しい形の地層を観察できる「稲村のスランプ構造」（ 立山黒部ジオパークのジオサイト）の現地へ向かいました。

児童たちは、実際に砂や泥の地層に触れ、生物の痕跡の化石を確認したり、様々な地層のありようをスケッチしたりして、五感で大地と生物の営みに触れ、ワクワク楽しい時間を過ごせたと思います。

10/18 立少フェスティバル

この日は、国立立山青少年自然の家で開催された「立少フェスティバル」にブースを出展させていただき、ジオパーククイズと石釣りゲームを行いました。

子供たちはもちろん保護者の方も一緒になり、多くのご家族がチャレンジしてくれました。成功された方には特製の缶バッジをプレゼントしました。中にはバッジをすぐにリュックにつけてくれる子もいました。

これをきっかけに少しでも多くの方にジオパークを知っていただけたらうれしいです。

10/18 富山県ボランティア・NPO フェスティバル

グランドプラザで毎年開催される恒例のイベントに、今年もブース出展させていただきました。

通りがかりの方から「ジオパークって何？」と尋ねられたり、観光ガイドをしてらっしゃる新潟や長野の方など県外の方に、見どころについて詳しい質問をされたり、いろいろな方に興味を持っていただくことができました。

これからも地道にこのような啓発活動を続けていきたいと思います。

10、11月のジオパーク散歩から

10/11　ジオパーク散歩 in 立山寺

この日は上市町でジオパーク散歩がありました。
「栂並木を歩いて､曹洞宗の名刹と３３観音参詣」というテーマのもと､栂並木参道、眼目山立山寺、櫛形山などをガイドの案内で巡りました。道中、立山寺周辺の植物の話などを聞きながら歩いているとカモシカとの思わぬ出会いもありました。

その後、眼目山立山寺では住職さんから、立山権現と大徹宗令禅師の出会いに始まる開創伝説をはじめ、観音堂にある龍の天井絵など、貴重なお話を聞かせていただきました。限られた時間では櫛形山の大山西国三十三観音霊場すべては回り切ることができませんでしたが、またいつか時間のある時に巡ってみようと思います。

10/14　ジオ パーク散歩 in 称名滝

立山町の称名滝でジオパーク散歩がありました。
称名滝のジオパーク散歩は今年 3 回目になりますが、午前中の開催は今回が初めてでした。9 時 30 分頃には対岸の様子も良く見えない状況でしたが、ジオパーク散歩を始める頃には視界が晴れ、雨に降られることもなく終えることが出来ました。

気温 17 度と過ごしやすい気候で、称名滝やハンノキ滝を眺めながらの心地よい散歩となりました。称名滝周辺では木々の大半はまだ青々としており、紅葉の見ごろはもう少し先になりそうです。今年の立山の紅葉はここ 10 年で 1 番といわれるほど話題になっており、称名滝の紅葉がどうなるか楽しみです。

10/15　ジオ パーク散歩 in 富山城

この日は「とやま街中」でジオパーク散歩でした。
天候にも恵まれ、しばし夏が戻ってきたような汗ばむ陽気の中、10 人の参加者のみなさんと、元気に城址公園の前田正甫公像の前を出発、松川傍の常夜灯から旧川幅分北寄りの常夜灯跡を巡ってかつての舟橋に思いを馳せた後、現在の神通川土手に向いました。

見通しの良い土手に上がると、「馳越線」の説明板があり、明治から昭和にかけての先人の知恵と努力でかつての神通川の流れが大きく変わったことを感じることができました。

11/1　ジオパーク散歩 in 魚津

この日は魚津市でジオパーク散歩がありました。
魚津埋没林博物館をスタートし、諏訪神社、大町海岸公園、旧水族館跡を巡りながら海岸線を歩きました。途中、ガイドから角川下流からの眺めが良いことを教えてもらい、紅葉で色づき始めた様子を楽しみました。

帰りは北陸街道を通り餌指公園などを巡りながら埋没林博物館を目指しました。当日はあいにくの空模様ではありましたが、ほとんど傘の出番もなく終えることができました。

10/17 ジオガイド スキルアップ研修

今年度第 10 回・11 回のスキルアップ研修は、10 月 17 日、富山市であり、富山石文化研究所の古川知明代表に「石垣から読み解く富山城」というテーマでお話しいただきました。

前半は富山城の歴史や石垣の特徴について説明いただき、後半は富山城址公園に足を運び、石垣の前で刻印を探したり、3mを超える巨石（鏡石）を観察したりしました。富山城の石垣には早月川の花崗岩類が 7 ～ 8 割も使用されていて、5 つある鏡石のうち 3 つが早月川の花崗岩のものということで驚きでした。

10/20 小見地区と下立地区の住民交流会

立山黒部ジオパーク協会が黒部市から受託している下立地区ジオサイト保護・活用事業の一環で、小見地区と下立地区の交流会を行いました。今年２月のオンライン交流の際に、今後はぜひ直接交流をして意見交換をしていきたいという両地区の思いが一致し、それが実現したものです。

両地区で観光や地域振興を学ぶ富山国際大学の学生にも参加していただき、開会式後、有峰ダム等の見学をしました。その後は、地域活性化の取組の紹介や今後の展望について話し合いました。最後に、11 月 16 日に開催予定の国際大の学生が運営する下立地区での街歩きの話題となり、一般の方のほか、小見のみなさんにも来ていただいて、今後も息長く交流が続けばいいなという話になりました。

法人会員「企業紹介」募集

立山黒部ジオパーク協会の法人会員様には、日頃から当協会の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

当協会では、法人会員様が、ジオパーク活動を支援していただいている企業であることを会員などに広く紹介し認知していただくために、この「たてくろジオパークだより」に、「企業紹介」を掲載させていただいております。

これまで未掲載の会員様には、是非ご検討いただき、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

掲載例
（第 83 号 4 ページ目）

申込方法は
こちらを
ご覧ください。

身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。下記をご参照ください。

パンフレット
（富山県気候変動適応センター）

地球温暖化と富山の未来
身の回りの気候変動を考えよう！

https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cca-pamphlet-2021toyama.pdf

たてくろ見どころコーナー

墓ノ木の水神社とタイマツ祭り（黒部川扇状地エリア） - 洪水から人々を守る神社・祭り -

墓ノ木の水神社は、舟見野段丘の崖下に位置し、黒東合口用水と黒部川の堤防に挟まれた地に祀られた神社です。昔、黒部川で大洪水があり、堤防が決壊しようとしたとき、バンドリを着た男が川に入って堤防を守り決壊を防ぎましたが、翌朝、男は黒御影石に変わっていたという話が伝わっています。墓ノ木の水神社には、この石が御神体として祀られています。

今から 250 年余り前、黒部川の大洪水で堤防が崩れ、村人は下流の村々の応援を頼み、復旧工事を急ぎました。夜には墓ノ木神社前で作った松明の明かりで、夜どおし復旧工事が行われ、堤防を守ったのがタイマツ祭りの始まりと言われています。祭りでは、竹を束ねて芯を作り、まわりに藁をあてて縄で巻いた大松明を２本、神明社から水神社まで米つり唄に合わせて運びます。松明は水神社で燃やし、おまいりします。

墓ノ木の水神社とタイマツ祭りは、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。

サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会
TEL 076-431-2089
E-mail info@tatekuro.jp

富山市民大学

10 月の富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」は

第 8 回「富山平野のジオヒストリー ～海と山の攻防～」（講師：富山大学名誉教授 竹内　章）

第 9 回「立山黒部ジオパークのスギと時空間」（講師：魚津埋没林博物館館長　石須　秀知 ）

が開催されました。

第 8 回は、プレートテクトニクス等の地学用語の説明をされた後、富山湾と富山平野の生い立ちから現在の地形に至る経過や要因等を解説していただきました。

第 9 回は、特徴的な形の桐杉や、特別天然記念物の魚津埋没林についてお話しいただき、いろんな視点で自然を見ることの大切さに気付くことができました。

9/27 講演会・観察会

室堂平にある立山自然保護センターで、同センターとの連携事業「講演会・観察会」の 2 回目が開催されました。講師の富山県教育委員会 生涯学習・文化財室の高梨 清志氏に「立山山上の石仏たち」のテーマでお話いただきました。観念的な存在であった地獄を具体的に可視化させたものが立山の自然景観である「立山地獄」で、その後立山には地獄と極楽浄土があるとされ多くの人々が訪れる機会となったとの事でした。石造物の基礎知識を学んだ後、実際に室堂周辺の石造物を見て回りました。美女平から上で確認される石造物は 123 基で、その約 6 割が室堂平と地獄谷に集中しており、日本三霊山の一つとして称された立山が、信仰の対象とされて来た事がうかがわれました。

〈編集後記〉

今年は、例年になく多くのクマが、中山間部だけでなく人の居住地周辺にも出没し、人的被害や農産物の食害などが大きく報道されています。立山黒部ジオパークの活動においても、一部の「ジオパーク散歩」を急遽中止するなど、少なからず影響が出てきています。この原因として、クマの餌となるどんぐりの凶作などが言われていますが、更にその要因として気候変動の影響もあるのではないかと思います。私達人間の社会活動が回り回って他の生物の生態に影響しているのでは・・・と思うと、持続可能な宇宙船地球号の舵取りの難しさをひしひしと感じます。

ジオパークだよりへのご意見などはこちらへ！

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会　(076-431-2089) までお問い合わせください。

立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK